

(別紙5)

整理番号 2017P-134
補助事業名 平成29年度 障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る 補助事業
補助事業者名 特定非営利活動法人 日本バリアフリー協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

音楽コンテストへの出場を通して、専門家の評価が得られ、他の演奏機会が増えることで、障がいを持つ音楽家の活動支援とする。また、音楽性・完成度の高い音楽作品の観覧を通じて、障がい者の自立の可能性・必要性について一般の人々の啓発とする。もって、障がい者の分野における社会福祉の増進に資する。

(2) 実施内容

第14回ゴールドコンサート (<https://gc.npojba.org/14>)

2017年9月16日(土)東京国際フォーラム ホールCにて第14回ゴールドコンサートを開催。障がいを持つ音楽家が出場する、本格的な音楽コンテスト。全国、海外から選抜された11組が出場。昨年に続き連続出場者も少なく、また新たな顔ぶれとなり、グランプリ、歌唱楽曲賞、演奏賞、観客賞(観客投票の第1位)を決定した。ゲストとして過去の受賞者が演奏した。また駐日デンマーク大使、東京都知事、総務大臣から挨拶を賜った。

翌日2017年9月17日(日)には日本オラクル株式会社の会議室にて第14回ゴールドコンサートの国内外の出場者、ボランティアを集め、国際交流プログラムを実施した。

また2017年6月4日(日)関西予選会をA&Hホールで、2018年2月10日(土)には沖縄予選会をミュージックタウン音市場にて開催した。



△ 開演前の客席



△ 表彰式後の集合写真

2 予想される事業実施効果

- ゴールドコンサートの受賞者・出場者が、このコンサートをきっかけとして、演奏のみならず、出演依頼や各メディアの取材依頼を受けるなど、音楽活動の場の拡大。(ゴールドコンサートの出場をきっかけに大手メディアに取り上げられたり、

(別紙5)

タイアップされたことによって、音楽関係者の目にとまりCDデビューした出場者もいた)

- 事業の継続をすることで、多くの障がいをもつ音楽家の実力が、自分自身・社会に対して証明されるため、自立と社会進出の足掛かりとなる。
- 観客は障がい者が奏でる音楽のレベルの高さに意外性を覚え、障がいに対して関心を持ち、障がい者の「出来る」部分に注目し始める。
- 障がい児や保護者が鑑賞することで、将来について話し合うきっかけになり意識に変化をもたらす。
- ゴールドコンサートの受賞者・出場者の出演依頼やメディア露出の増加により、イベントの知名度が上がり、音楽家を目指す障がい者が、本コンサートへの出場を目標とすることが活動の意欲となり、日々努力をすることで将来のステップへのきっかけとなる。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

第14回ゴールドコンサート報告書 (DVD付き)



障がい者の音楽コンサート
GOLD CONCERT 第14回ゴールドコンサート
2017年03月18日(土) 東京国際フォーラム ホールC
主催 NPO 法人 日本バリアフリー協会
協賛 東京都福祉保健局
DVD VIDEO
この事業は登録の補助を受けて実施しました。
http://www.npojba.org
V-1702477

(別紙5)

(2)(1) 以外で当事業において作成したもの
該当なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 特定非営利活動法人日本バリアフリー協会
(トクテイヒエイリカツドウホウジンニホンバリアフリーキョウカイ)

住 所 : 〒102-0093
東京都千代田区平河町1-7-16-801

代 表 者 : 代表理事 貝谷 嘉洋 (カイヤ ヨシヒロ)

担 当 部 署 :

担 当 者 名 : ディレクター 日比野 悟知 (ヒビノ サトシ)

電 話 番 号 : 03-5215-1485

F A X : 03-5215-1735

E - m a i l : hibino@npjba.org

U R L : <http://www.npojba.org>